

平成30年度 第42回 群馬県小学生総合体育大会クラブ対抗陸上競技大会兼  
第34回 全国小学生陸上競技交流大会群馬県選考会 (案)

1. 主催 群馬陸上競技協会 群馬県スポーツ協会 上毛新聞社
2. 後援 群馬県 群馬県教育委員会 群馬県小学校体育研究会  
財団法人日清スポーツ振興財団 前橋市教育委員会 前橋市体育協会
3. 協賛 日清食品ホールディングス株式会社
4. 期日 平成30年6月9日(土) 8時30分開会式、9時30分競技開始
5. 会場 正田醤油スタジアム群馬
6. 種目  
小学生総体・全国大会選考会共通種目(男女共)  
5年100m、6年100m、共通80mH、共通4×100mR  
共通走高跳、共通走幅跳、共通ジャベリックボール投  
小学生総体種目(男女共)  
4年100m、5年50mH、4年800m、5年女子800m、6年女子800m  
5年男子1000m、6年男子1000m、5年走高跳、5年走幅跳、5年ソフトボール投
7. 参加資格 (1) 県内の小学生で、群馬陸上競技協会の加盟団体のクラブで指導を受け推薦された者。  
(2) 保護者の同意を得た健康な者。  
(3) 共通種目は、小学生5・6年生で各クラブの指導を受けて推薦された者。  
(4) 小学生総体種目は、4～6年生で各クラブの指導を受けて推薦された者。  
4年生は、平成20年4月2日から平成21年4月1日の間に生まれた者。  
5年生は、平成19年4月2日から平成20年4月1日の間に生まれた者。  
6年生は、平成18年4月2日から平成19年4月1日の間に生まれた者。
8. 参加制限 (1) 各クラブ1種目3人、リレーは、男女1チーム。  
(2) 1人1種目。個人種目とリレーは、兼ねることができない。  
(3) リレーのチーム編成は、5名とする。
9. 競技方法  
・2018年日本陸上競技連盟競技規則による。  
・招集はトラック競技15分前、フィールド競技40分前に完了とする。  
・ナンバーカードは、配布されたものを胸と背につけること。  
・腰ナンバーカードは、招集所で配布されたものを右腰後方につけること(リレーは、最終走者のみとする)。  
・共通種目の100m、80mH、4×100mRは、予選タイム上位8名、8チームで決勝を行う。  
・その他の種目は、タイムレースとする。  
・80mHは、1台目まで13m、インターバル7m、ハードルの高さ70cmで、9台とする。  
・50mHは、1台目まで13m、インターバル7m、ハードルの高さ60cmで、5台とする。  
・リレーのオーダー用紙は、監督会議で提出し、変更は競技開始60分前までとする。

・走高跳バーの上げ方（男女共通）

練習 最初の高さ

100 105、110、115、120、125、128 以後2cmずつ

- ・走高跳は足から着地する。背中や尻から着地した場合は、無効試技とする。
- ・足から着地した後体勢を崩した場合は、有効試技とする。
- ・共通種目の走幅跳は、トップ8を決定してさらに3回の試技を行う。
- ・共通ジャベリックボール投、5年ソフトボール投は、全員3回連投試技とする。
- ・ジャベリックボール投は、やり投げのルールにより、主催者が用意した器具を使用する。なお、助走距離は、15m以内とする。
- ・ソフトボール投は、やり投げのルールにより、ボールサイズは、1号とする。  
なお、助走距離は、15m以内とする。

10. 申込方法 小学生総体規定の申し込みファイルに必要事項を入力し、各クラブが責任をもって、5月31日(木)必着でメールで申し込むこと。（小学校での申込は認めない。）申し込みファイルとメールアドレスについての詳細は、各クラブに郵送する。

11. 参加料等 1人700円

プログラムは、1部500円とし、各クラブで事前予約販売とする。

参加料、プログラム代金共に、当日、受付にて支払うこと。

12. 得点 各種目第1位・・・8点、第2位・・・7点～第7位・・・2点、第8位・・・1点。

13. 表彰
- (1) 各種目の1～3位までに賞状とメダル、4～8位までに賞状を授与する。
  - (2) 男子総合、女子総合優勝～6位に賞状を授与する。
  - (3) 参加者全員に参加賞と記録証を贈る。

14. その他 (1) 全国大会共通種目の優勝者（チーム）は、全国小学生陸上競技交流大会の出場権を得る。大会終了後、参加手続きを会議室にて行う。選手・保護者・クラブ代表者は必ず出席すること。

(2) 各クラブ代表者により大会当日午前8時00分より監督会議をおこなう。

(3) スパイクシューズの使用を認める。

(4) リレーの補員により100mの友好レースを行う。その組み合わせはリレーの組み合わせとする。

(5) 参加を希望するクラブは、1クラブ当たり4～5名の審判員をだすこと。大会当日審判員の集合時刻は、午前7時30分とする。

(6) 大会当日の競技日程は、プログラム編成後、群馬陸協Webページに掲載する。

(7) 傷害保険は主催者側でも用意するが、補償は、その範囲とする。

当日は、救護室でのけがの応急手当は、可能とする。各クラブは、会場までの往復を含めて大会実施中の事故防止に努めること。

(8) 申し込み用紙に記載された情報は、選手登録・新聞・プログラム掲載のために使用する。また、大会成績は、新聞・webページ・群馬陸上競技年鑑・次年度以降のプログラムに掲載する。同事項に関しては、申し込み時点で承諾しているものと判断する。

(9) 本大会に参加した選手は、全国クロスカントリーリレー研修大会群馬県選考会、クラブ対抗少年少女駅伝競走大会（ライスカップ駅伝）には、原則、同一クラブでの参加とする。（長年行われてきている地域選抜等の場合は考慮する。）